

V. 浜松市内企業就職者並びにUIJターン就職経験者

1. 実態調査概要

(1) 調査目的

本調査はUIJターン就職の促進による若者の転入増加と、地元企業を担う人材及び労働力を確保するための基礎的データを、浜松市内企業への就職者より収集し、今後の事業施策に活用することを目的に実施した。

(2) 調査対象

浜松市内の企業で勤務する者。並びに、浜松市内に本社を置く浜松市外の支店、営業所に勤務する者 200名を抽出。

(3) 調査方法

令和4年12月7日～令和4年12月16日、インターネットリサーチ会社のWebモニターを利用したWebアンケート調査を実施。

(4) 回収条件

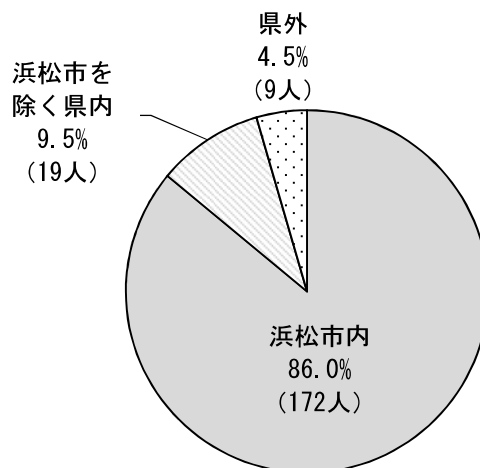
全体 200 人、男性 100 人、女性 100 人

2. 実態調査結果

(1) 浜松市内勤務者の属性

浜松市内企業勤務者調査対象者の出身地は浜松市内が86.0%で、浜松市を除く静岡県内出身者が9.5%、残り4.5%が静岡県外出身者である。性別や採用区分に関わらず、浜松市内出身者が浜松市内で勤務可能な企業への就職割合が高い結果となった。

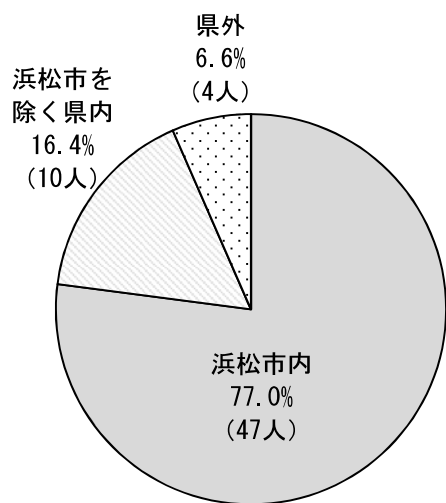
図表 1-1 浜松市内勤務者の出身地（全体）



(全体数：200人)

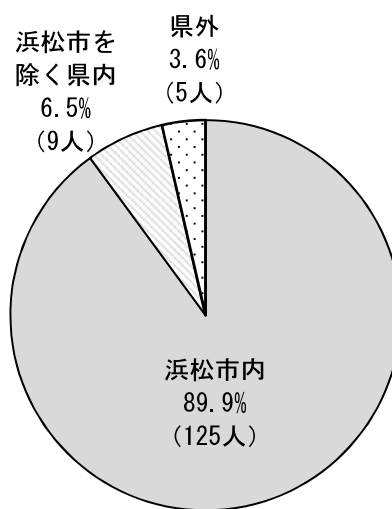
V. 浜松市内企業就職者並びにUIJターン就職経験者

図表 1-2 出身地（新卒）



(全体数 : 61 人)

図表 1-3 出身地（中途）

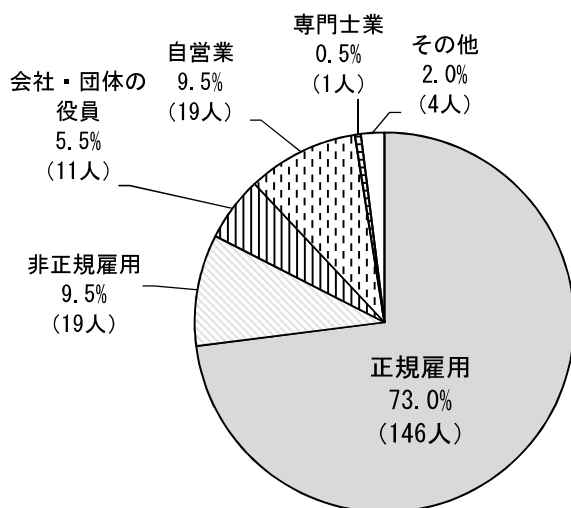


(全体数 : 139 人)

(2) 浜松市内勤務者の就業状況について

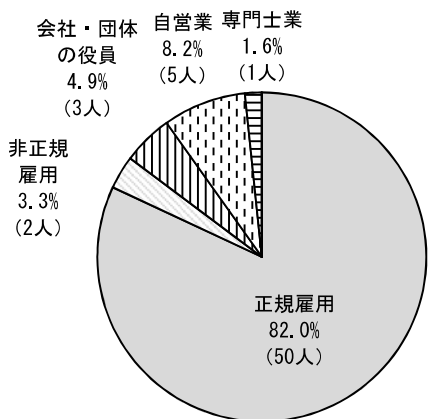
浜松市内企業に勤務する者(回答者)の現在の雇用形態について、割合が最も高いのは正規雇用で73.0%と群を抜いており、次いで非正規雇用と自営業が9.5%で並ぶ。また、採用区分においても、正規雇用は新卒の82.0%、中途採用の69.1%を占め、共に過半数を上回っている。このことから、UIJターン就職対策には正規雇用を前提とした働きかけが有効と考えられる。

図表2-1 現状の就業形態(全体)



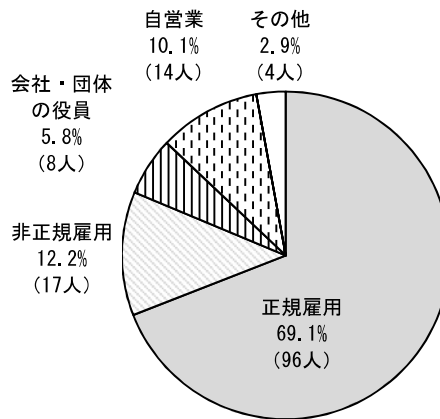
(全体数: 200人)

図表2-2 就業形態(新卒)



(全体数: 61人)

図表2-3 就業形態(中途)



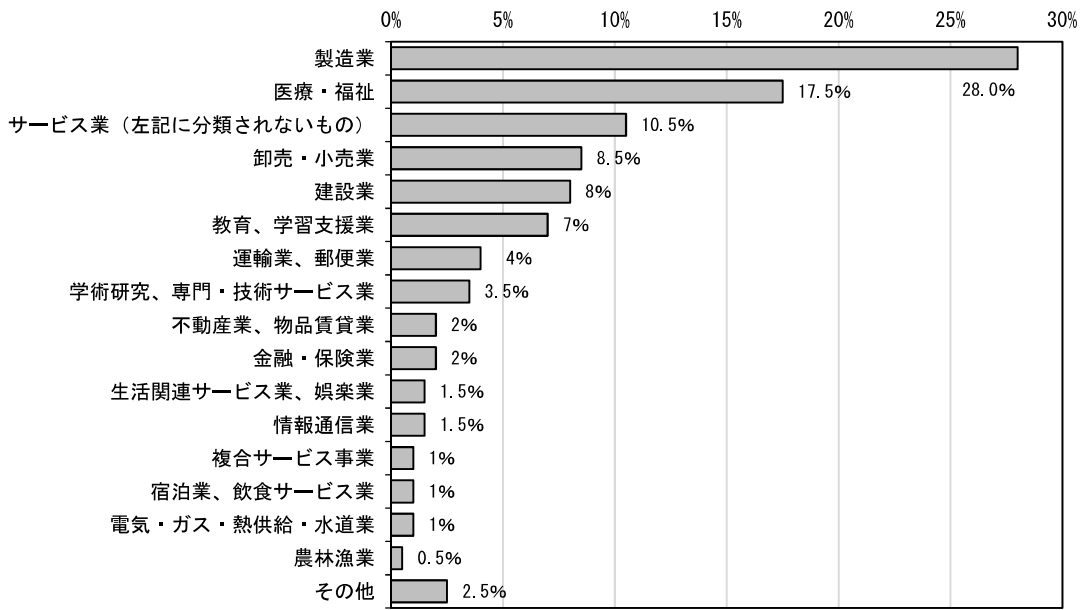
(全体数 139人)

V. 浜松市内企業就職者並びにUIJターン就職経験者

●業種

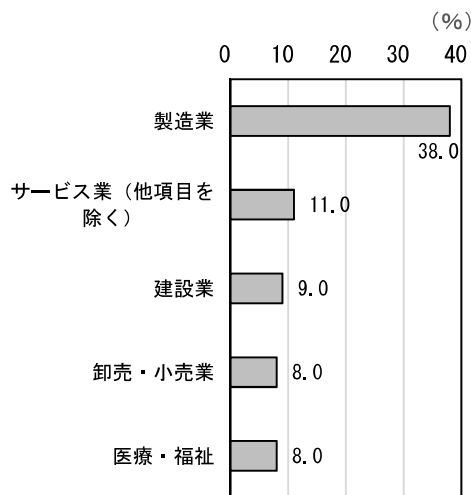
➤現在の業種について、割合が最も高いのは「製造業」(28.0%)。次いで「医療・福祉」(17.5%)、「サービス業」(10.5%)、卸売・小売(8.5%)と続く。男性は「製造業」(38.0%)、女性は「医療・福祉」(27.0%)が最多となった。

図3-1 就職企業の業種比率(全体)



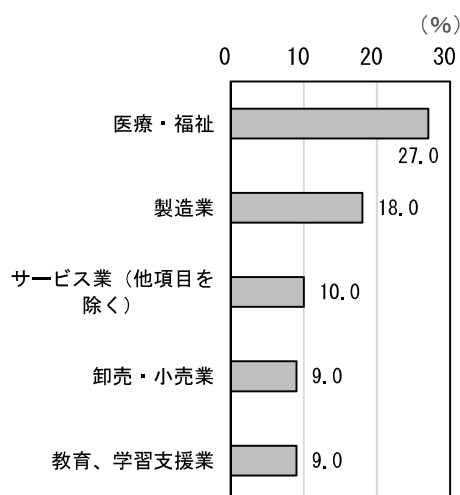
(全体数：200人)

図表3-2 業種(男性・上位5種)



(全体数：100人)

図表3-3 業種(女性・上位5種)



(全体数：100人)

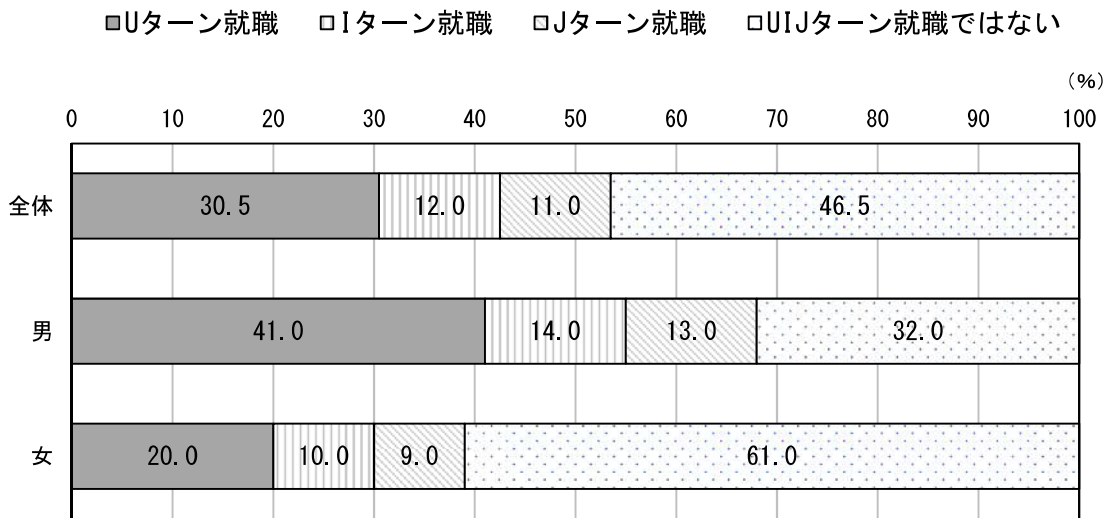
(3) UIJターンの実施状況について

●UIJターン就職の実態

浜松市内企業への就職者の内、UIJターン就職者の割合は200人中107人、53.5%（Uターン就職30.5%、Iターン就職12.0%、Jターン就職11.0%）と過半数を占めている。

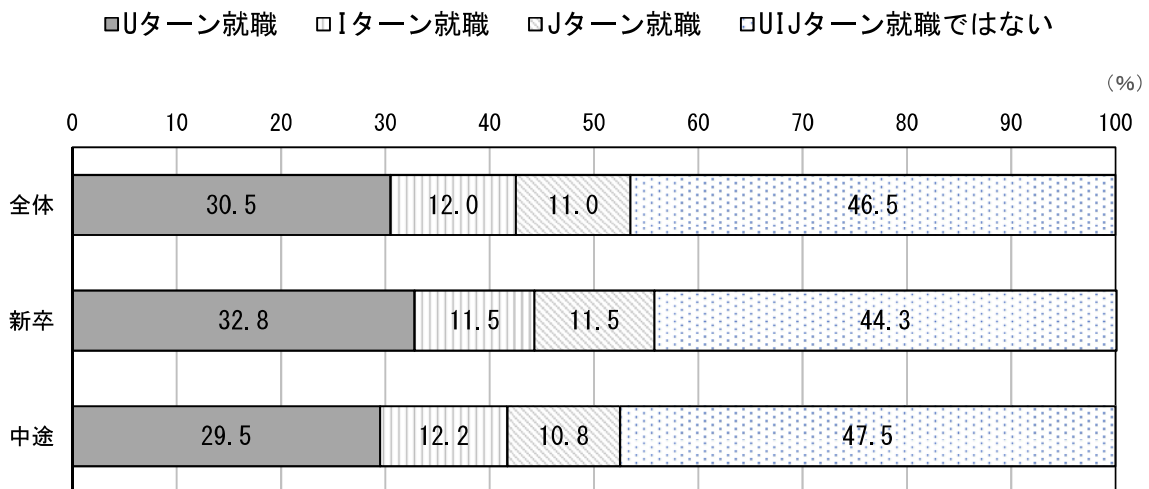
男性は、「Uターン就職した」が41.0%で一番高いが、女性は「UIJターン就職ではない」が61.0%と最も高く、地元の学校に進学、卒業して地元就職する人が男性より多い結果となった。

図表4-1 UIJターン就職実施状況（性別）



(全体数：200人、男性100人、女性100人)

図表4-2 UIJターン就職実施状況（採用区分別）



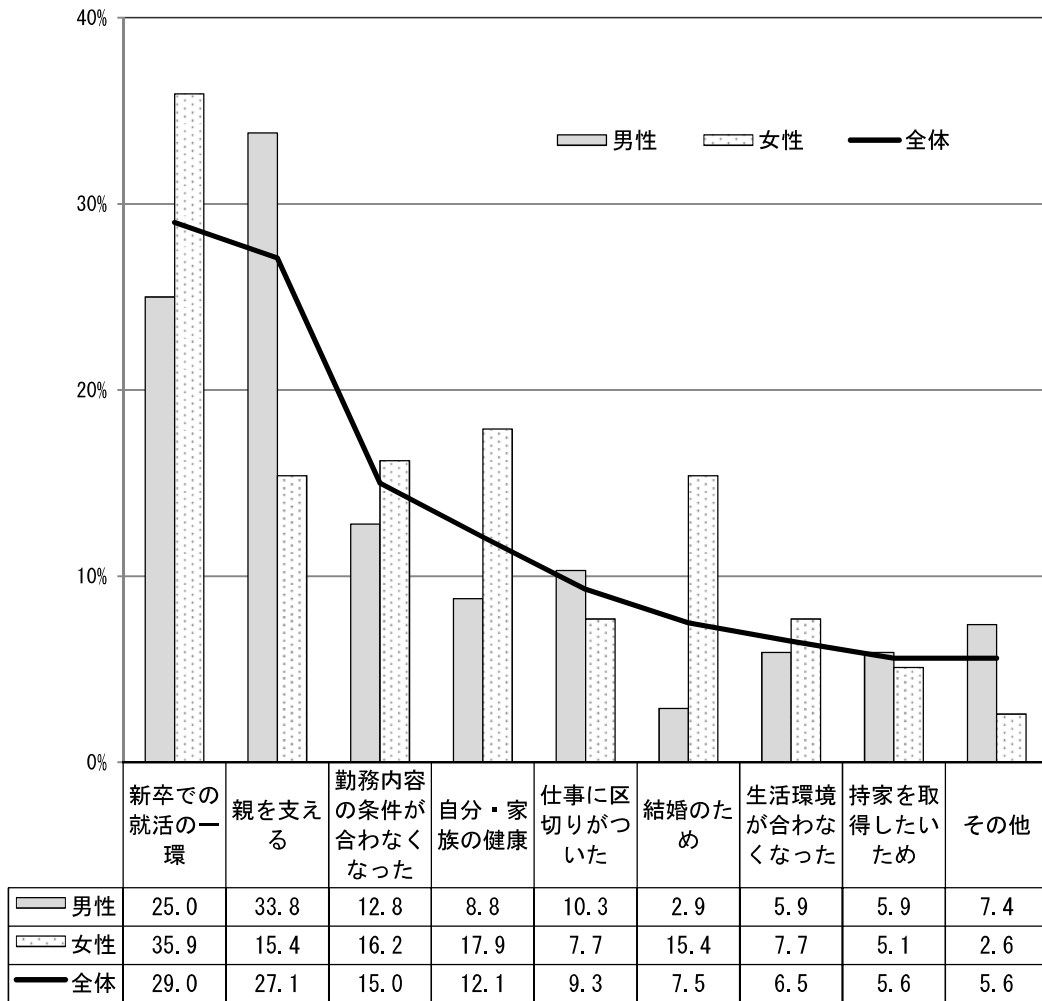
(全体数：200人、新卒61人、中途139人)

V. 浜松市内企業就職者並びにUIJターン就職経験者

●UIJターン就職を行った理由

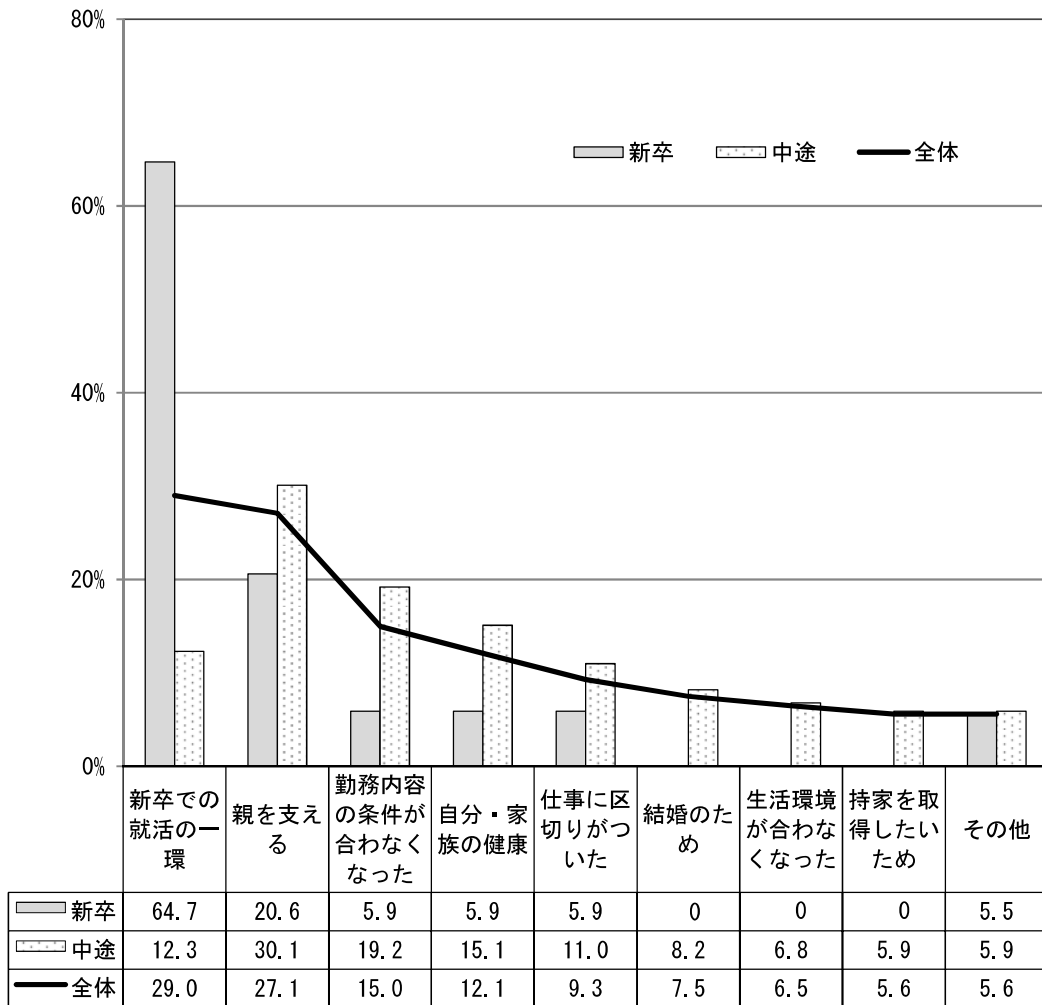
UIJターン就職を行った理由は、「就職活動の一環として」(29.0%)の割合が最も多く、次いで「親を支えるため」(27.1%)、「勤務時間・給与・通勤等の勤務条件が合わなくなった」(15.0%)が続く。なお、平成27年度と比較して上位2つ「新卒での就職活動」と「親を支える」は変わらないが、3番目に健康問題に代わり「勤務内容が合わなかった」が増加した。

図表5-1 UIJターン就職を行った理由(性別・複数回答可)



(全体数：200人、男性100人、女性100人)

図表5-2 UIJターン就職を行った理由（採用区分別・複数回答可）



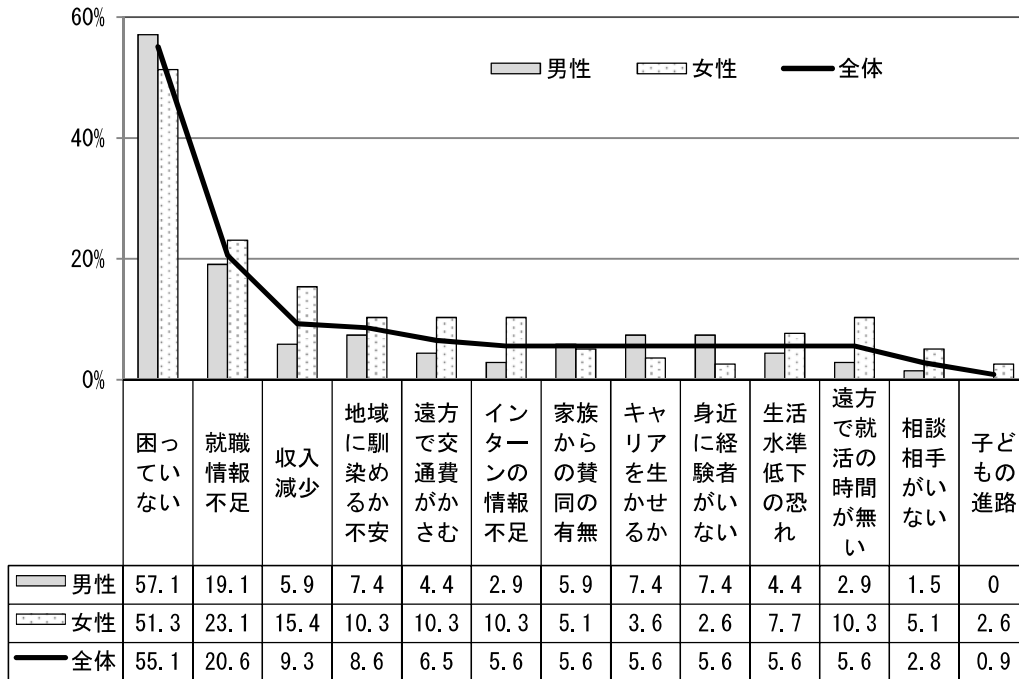
（全体数：200人、新卒61人、中途139人）

●UIJターン就職者の悩み

UIJターン就職を行うにあたっての悩みごとは、「特段の困りごとは無い」との回答割合が過半数を占めた。悩みの中では、「浜松市内の就職情報不足」が最も高く、全体の20.6%を占め、特に新卒採用者は26.5%と情報不足に悩む割合が高く、次に「収入減少」(9.3%)、「地域に馴染めるか不安」(8.6%)と続く。

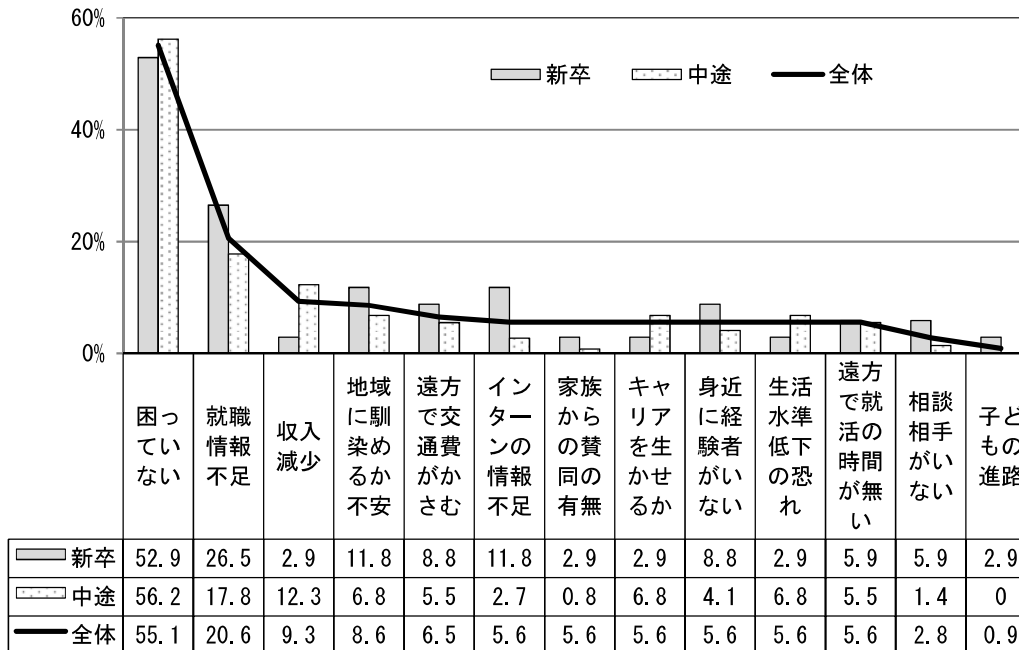
V. 浜松市内企業就職者並びにUIJターン就職経験者

図表6-1 UIJターン就職者の悩み（性別・複数回答可）



（全体数 107 人、男性 68 人、女性 39 人）

図表6-2 UIJターン就職者の悩み（採用区分別・複数回答可）



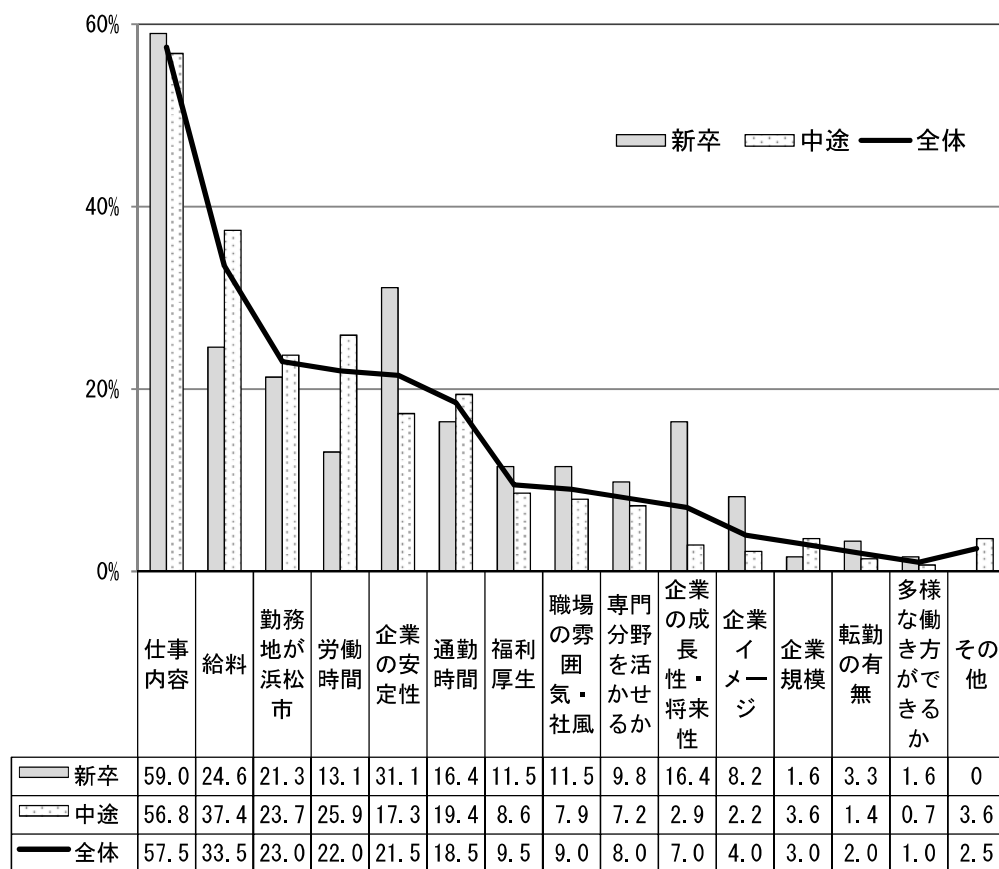
（全体数 107 人、新卒 34 人、中途 73 人）

●UIJターン就職者が会社選択に当たって重視すること

「職種・業種等の仕事内容」(57.5%)を重視する割合が最も高く、次いで「給料」(33.5%)、「勤務地が浜松」(23.0%)、「労働時間」(22.0%)、「企業の安定性」(21.5%)と続いている。

この結果とUIJターン就職の理由として「勤務時間・給与・通勤等の勤務条件が合わなくなった」ことや「親を支えるため」といった要因が上位に上がっていることも合わせて考察すると、就職者は浜松市で長期的に生活することを見据えて、ワークライフバランスにあった企業探しを行っているとの見方ができる。また、新卒者は中途者よりも安定性や将来性を重視し、中途者は新卒者よりも給料や労働時間を重視する傾向がある。

図表7 会社選択をするにあたって重視すること（採用区分別・複数回答可）



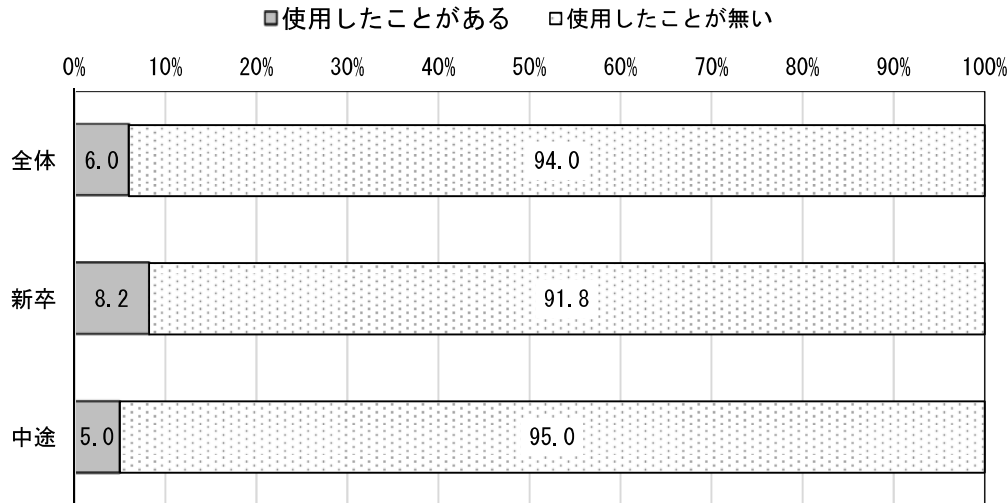
(全体数 107 人、新卒 34 人、中途 73 人)

V. 浜松市内企業就職者並びにUIJターン就職経験者

(4) 「浜松就職・転職ナビJOBはま!」について

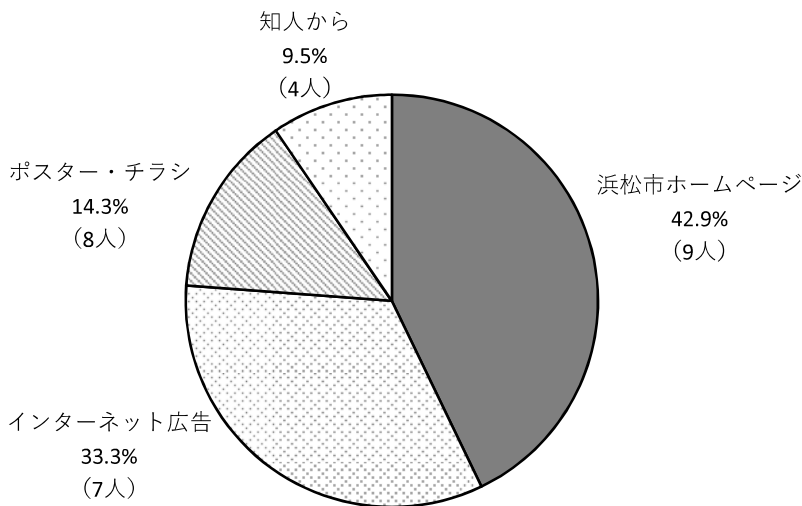
「浜松就職・転職ナビJOBはま!」を利用したことがある人の割合は全体の6%であった。平成27年度調査でも6%であり、変化はなかった。また、「JOBはま!」利用者の42.9%が浜松市のHP、33.3%がインターネット広告を見て利用した。

図表8-1 「浜松就職・転職ナビJOBはま!」利用状況



(全体数 : 200 人)

図表8-2 「浜松就職・転職ナビJOBはま!」の利用経路 (複数回答可)



(全体数 : 12 人)

VI. 浜松市外企業への就職者

1. 実態調査概要

(1) 調査目的

本調査は、UIJ ターン就職の促進による若者への転入増加と、地元企業を担う人材及び労働力を確保するための基礎的データを、浜松市外へ就職した者より収集し、今後の事業施策に活用することを目的に実施した。

(2) 調査対象

浜松市出身者で「浜松市外の企業に勤務」している 200 人を抽出。

(3) 調査方法

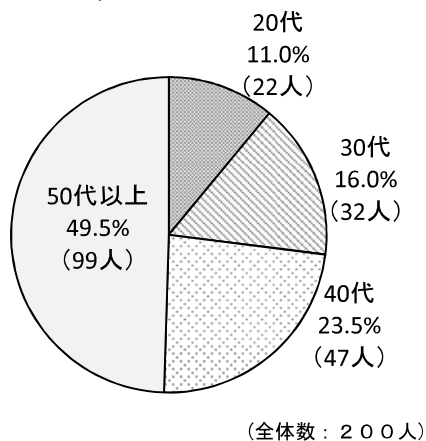
令和 4 年 12 月 7 日～令和 4 年 12 月 16 日、インターネットリサーチ会社の Web モニターを利用した Web アンケート調査を実施。

(4) 回収状況

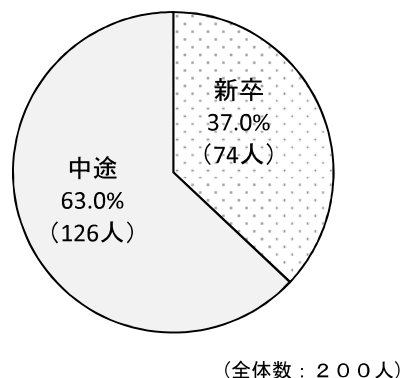
全体 200 人、男性 100 人、女性 100 人。

(5) 調査回答者の属性

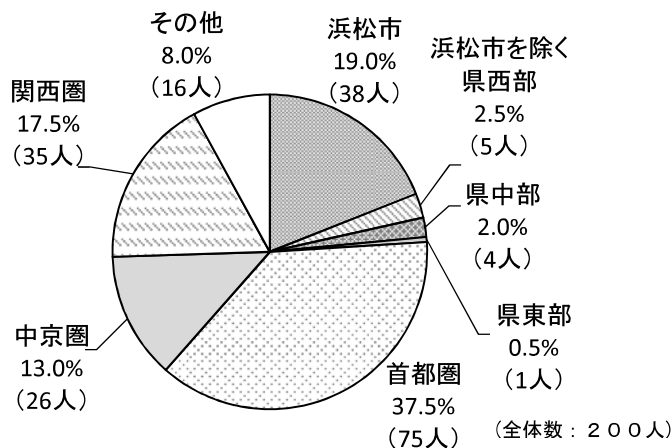
図表 1-1 年代



図表 1-2 採用区分



図表 1-3 回答者の居住地域



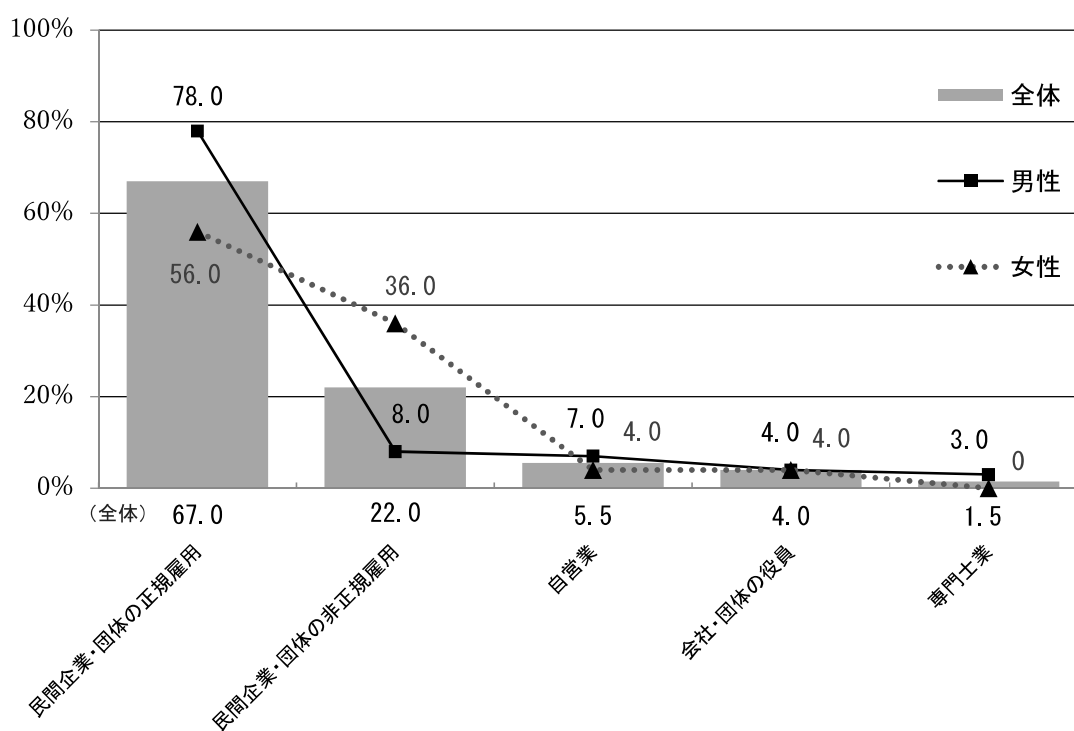
2. 実態調査結果

(1) 回答者の現在の状況について

●就業形態

➤ 現在の就業形態について割合が最も高いのは、「民間企業・団体の正規雇用（社員・職員等）」（67.0%）。性別で見ると男性は「民間企業・団体の正規雇用」（78.0%）割合が全体より高い。女性は「民間企業・団体の正規雇用」（56.0%）割合が男性より低く、「民間企業・団体の非正規雇用」（36.0%）の割合が男性より高い。

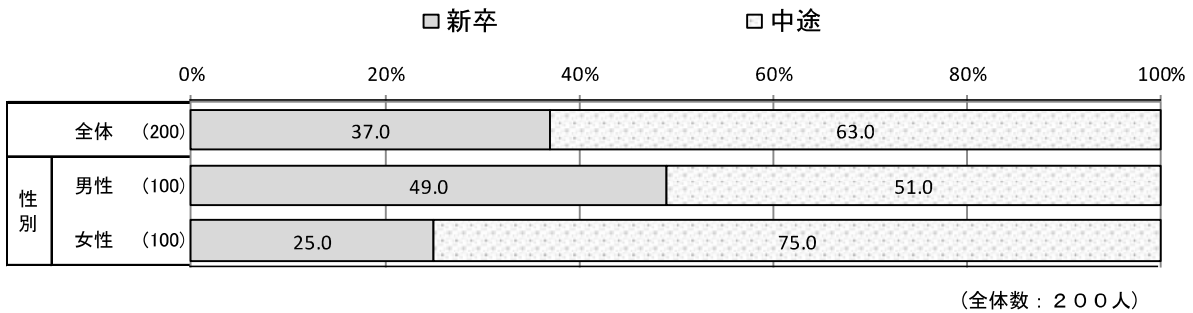
図表2 男女別の就業形態（全体数 200 人、男性 100 人、女性 100 人）



●採用区分

➤ 採用区分では、新卒が37%、中途が63%となった。男女別では、男性が新卒と中途ほぼ同じだったのに対し、女性は中途が75%を占めた。

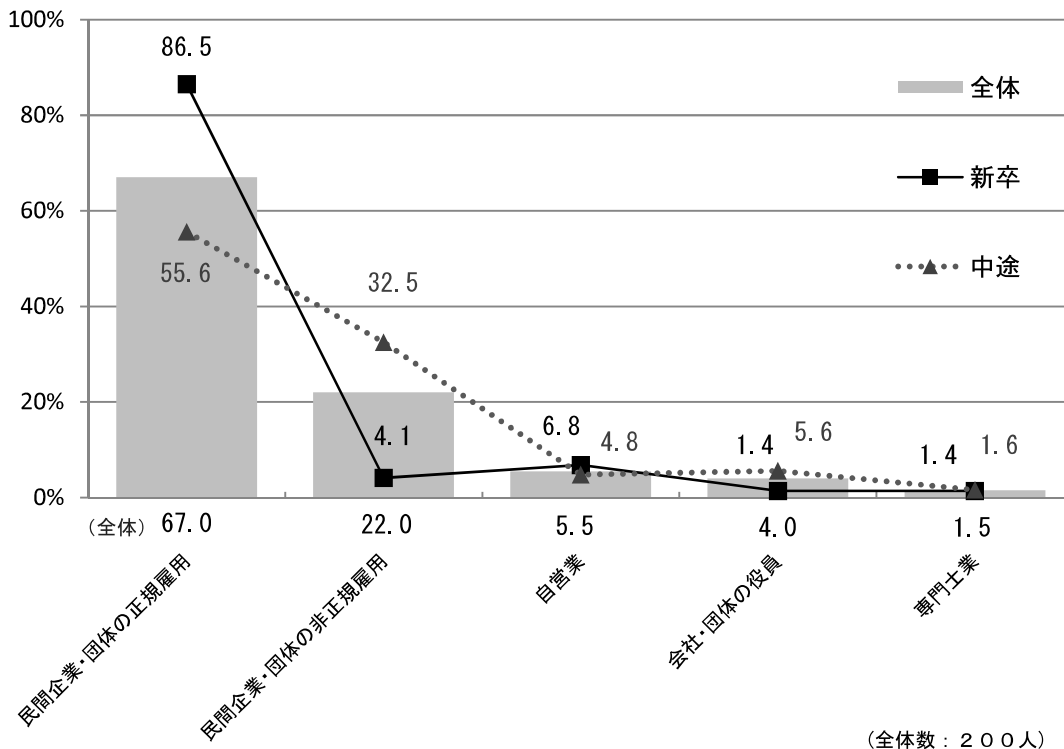
図表3 男女別の採用区分



●就職時の採用区分

➤ 採用区分別では新卒の「民間企業・団体の正規雇用」(86.5%)が突出している。中途は32.5%が「民間企業・団体の非正規雇用」となっている。

図表4 就職時の採用区分 (新卒・中途)



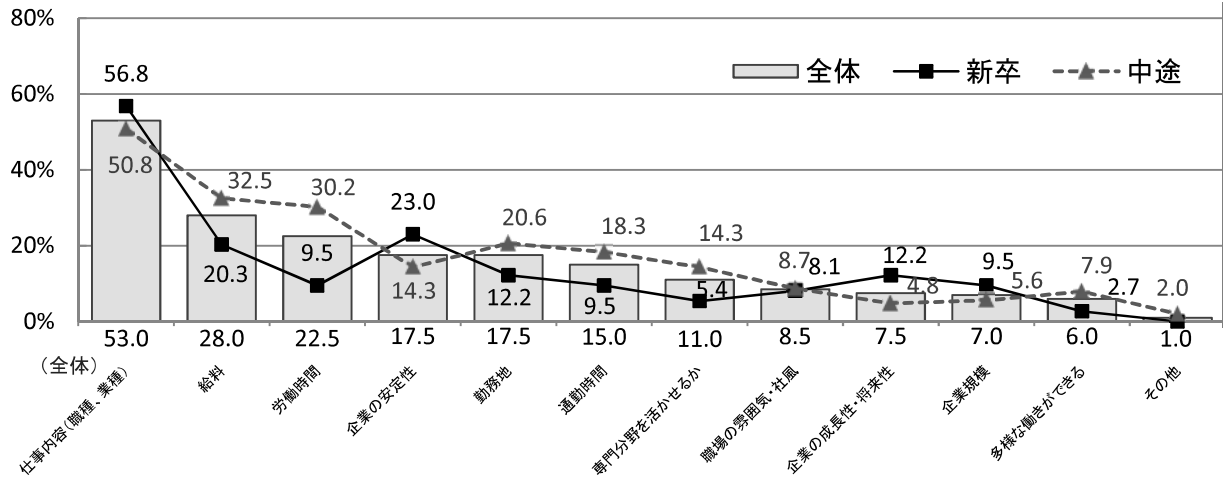
VI. 市外企業就職者

(2) 勤務先の選択理由について

●勤務先選択時に重視した点

➤ 勤務先を選択する時の重視点について割合が最も高いのは「仕事内容(職種、業種)(53.0%)」である。次いで「給料」(28.0%)、「労働時間」(22.5%)、「企業の安定性」「勤務地」は共に(17.5%)と続く。新卒は「企業の安定性」(23.0%)や「企業の成長性・将来性」(12.2%)を重視する率が中途と比べ高く、中途は「給料」(32.5%)、「労働時間」(30.2%)が新卒と比べ突出して高かった。

図表5 現在の勤務先を選択するにあたって重視した点(3つまで)

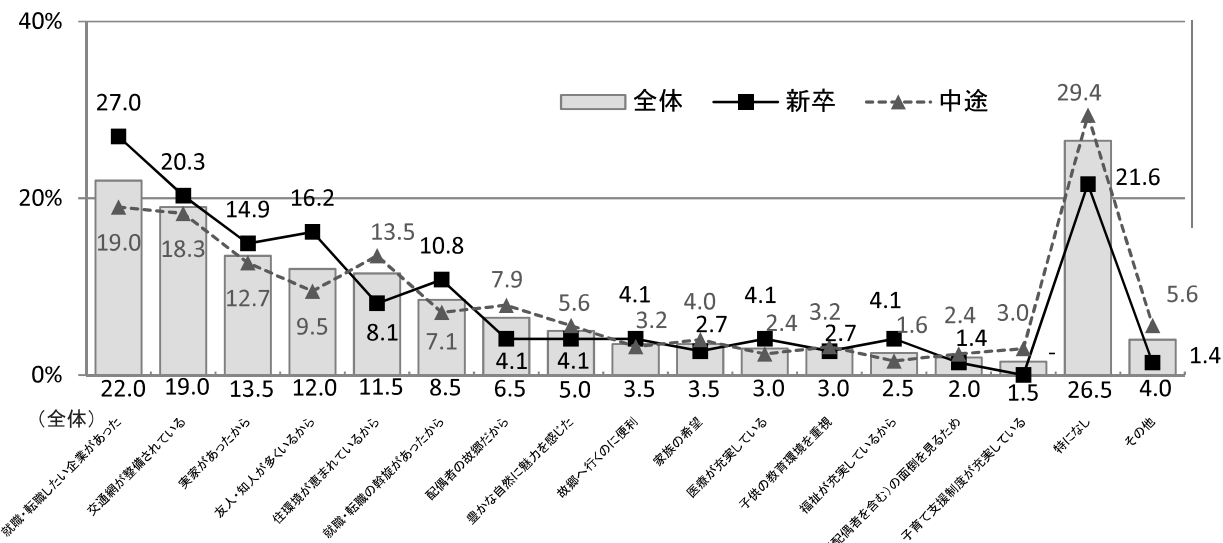


(全体数：200人)

●企業の勤務先地域を選択した理由

➤ 現在の勤務先地域を選択した理由について「特になし」を除いて最も割合が高いのは「就職・転職したい企業があったから」(22.0%)である。次いで「交通網が整備されている」(19.0%)、「実家があったから」(13.5%)が続く。

図表6 採用区分別の現在の勤務地域を選択した理由(複数回答)

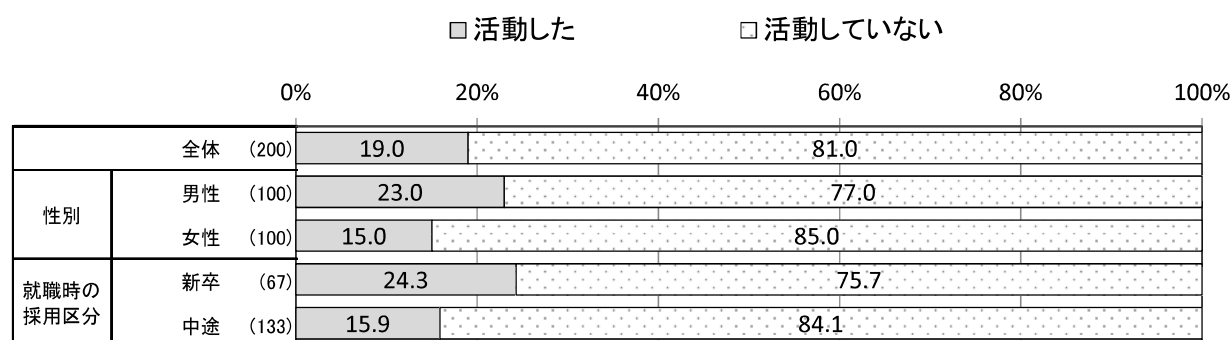


(全体数：200人)

●浜松市内企業への就職・転職活動の有無

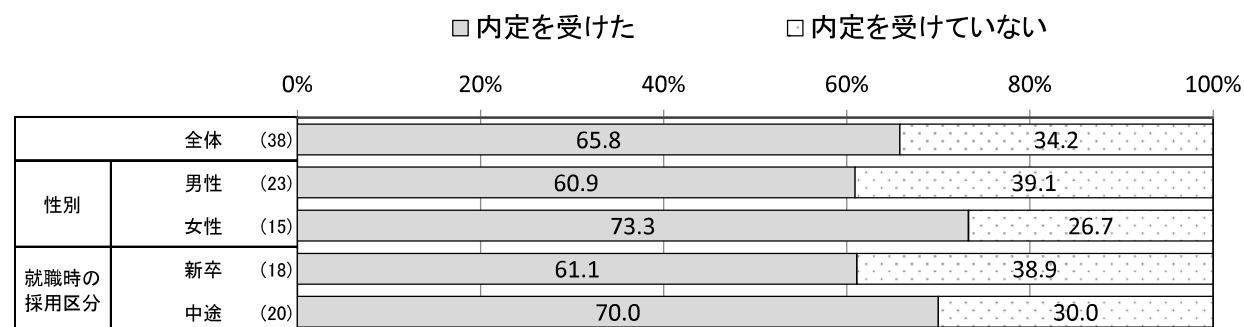
- 浜松市内企業への就職・転職活動経験割合は 19.0%であり、浜松市内企業への就職活動をしたと回答した 38 名のうち浜松市内企業からの内定を受けたのは 65.8%の 25 名。浜松市内企業からの内定を受けた 25 名のうち、就職時の採用区分は新卒 11 名、中途 14 名であった。

図表 7 浜松市内企業への就職・転職活動の有無



(全体数：200人)

図表 8 採用区分別の浜松市内企業からの内定経験（男女別）



(全体数：38人)

●浜松市外企業での就労を決めた理由（自由回答）

- 浜松市内企業からの内定を受けたものの、市外企業へ就職した理由として一番多く挙げられたのは「給与・福利厚生などの待遇面」、次点で「仕事内容」となっており、福利厚生を含めた給与の条件面や仕事内容を重視する傾向にあった。その他で市外企業での就労を選択した理由としては「安定性」、「事業規模や将来性」、「配偶者の故郷」、「現在の居住地から近かった」など企業自体の安定性を求める回答や自身の環境合わせたという回答が挙げられた。